

長岡市バスケットボール協会 審判育成プロジェクト

2016.10.13(thu) @ 県立長岡大手高等学校

第4回 実技講習「2メンメカニクの確認」

(1) 正しい判定のために

繰り広げられるプレイに対応し、良い位置から判断し、正しい判定につなげること

★ **ブラインドからの判定を避ける** Blind call, Cross call → ×

★ **動きながらの判定を避ける**

(2) 2人の協力

① **Boxing-in** …… 10人のプレイヤーを常に自分と相手審判の視野の中に入れておく

② **Always moving** …… 絶えず良い角度（アングル）と視野を求めて位置を変える

③ **Space-watching** …… からだの触れ合いが起こっているかいないかを判断する

④ **Penetration** …… バスケットに向かって踏み込んでそのプレイを確認する

【リード】

(1) 必要があれば、Close down からタイミング良くゴールの右側のドライブを判断できる位置に移動しても良い。ただし、オートマチックに移動することはストレートラインを作ることになるので注意する。

(2) 動きながらの判定は避ける。また、No working area に立ち止まることは避ける。

【トレイル】

(1) 3人制のTとCの役割を持つ

(2) “Tは横を確認する”という概念から“縦を確認するケースがある”ことを理解する。

(3) スローイン

(1) 原則として、LとTのBoxing-inを形成することを強く意識する。

(2) 攻撃側のフロントコート・エンドラインからのスローインの時のLについて

① バックボードの左側からのスローインでは外側からボールを渡す。

② バックボードの左側サイドライン近くのスローインでは内側からボールを渡す。

③ バックボードの右側からのスローインでは、トスあるいはバウンズパスで渡し、Tとboxing-inを形成する。

④ スローワーにボールを渡す前に笛を鳴らす（Warning whistle）。

(3) トレイルはリードをミラーし、タイムインもする。

(4) フリースロー

(1) Lは次にフリースローが続く場合、フリースローレーンの一番エンドラインに近いリバウンドの位置とエンドラインの間に立つ。

(2) Lは最後のフリースローの場合、エンドラインの後方に立つ。



【次回の予定】

第5回 11月15日（火）18：30～20：00

会場：長岡市立旭岡中学校 内容：座学「スリーメンメカニクの理解」

※ 年間の予定（追加・変更等含）は長岡市バスケットボール協会HP上でご確認ください。

長岡市バスケットボール協会 <http://www.nagaoka-nbba.com/>